見どころいっぱい！ 狭山の四季

春

狭山には桜の名所や美しい桜並木などが沢山あります。

埼玉県営・狭山稲荷山公園の桜園内には、約３００本ほどのソメイヨシノやヤエザクラの並木があり、市民から親しまれています。また、カタクリの自生地があり、桜の頃に綺麗な花を鑑賞できます。

智光山公園の桜も見事で、６月になると花菖蒲やバラの花も楽しめます。

稲荷山公園の桜とカタクリの花

智光山公園の桜

狭山茶は、『色は静岡、香りは宇治よ、味は狭山でとどめさす』とうたわれ、「狭山火入」という伝統の火入れにより狭山茶特有の濃厚な甘味が生まれます。

狭山茶は、狭山市・入間市・所沢市や県内でも広く作られています。

埼玉県茶業研究所で育成された、さやまかおり（濃厚な味）・ふくみどり（甘い花のような香り）・ほくめい（すっきりとした味わい）等は人気の品種です。

狭山新茶と花いっぱいまつり

新茶の収穫

夏

暑い夏は、七夕と花火と夏祭り。

関東三大七夕祭りの一つである「入間川七夕まつり」は、「仙台七夕まつり」に次いで古い歴史があり、そのルーツは江戸時代までさかのぼります。毎年、８月第一土曜日・日曜日に実施され、土曜日は納涼花火大会もあります。

入間川七夕まつり

納涼花火大会

柏原・白鬚神社の祇園囃子は７月15日に近い日曜日に行われます。

北入曽・野々宮神社の神輿渡御は、江戸時代に始まったと言われ、７月15日前後の土曜日に行われます。

八幡神社の境内社に八雲神社があり、毎年７月中旬の日曜日に「天王さま」の夏祭りが行われ、お神輿が担がれます。

野々宮神社の神輿渡御

白鬚神社の祇園囃子

秋

奥富小学校前の田んぼを会場に開催される「奥富かかし祭り」は、毎年、10月末～11月初旬にかけて行われ、会場では、その年の世相を反映した案山子など、１００体前後の作品が楽しめます。

９月になると秋祭。入間川・八幡神社で毎年、９月中旬の土・日に奉納される「八幡神社の鹿子舞」は江戸時代中期から続いています。

10月中旬には入曽・入間野神社の「入曽の獅子舞」があり、堀兼神社では、10月15日の秋季大祭で「堀上囃子」が奉納され、「上赤坂まつり」では獅子舞が披露されます。

八幡神社の鹿子舞

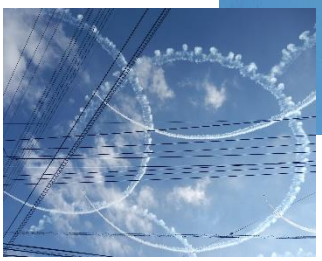
上赤坂の獅子舞

11月3日には「入間基地航空祭」が、航空自衛隊入間基地で開催されます。

各種航空機の地上展示と飛行、陸上自衛隊・空挺隊員による落下傘降下など盛り沢山のイベントの中でも最大の見どころは、ブルーインパルスの航空ショー。

毎年、全国各地からの２０万人を超える観客で賑わいます。

ブルーインパルスの勇姿

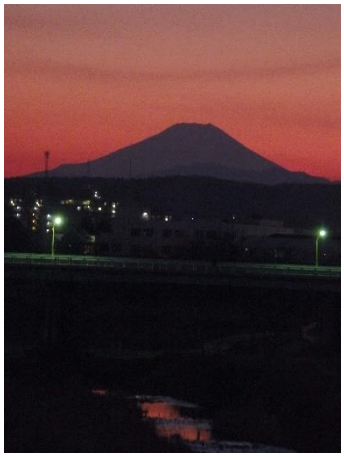

五輪マーク

冬

狭山はどこからでも富士山が見えますが、新富士見橋から望む冬の富士山は特に雄大です。朝日や夕日に映る富士山を観ると、清々しい気持ちになります。

河川敷からは大岳山・御前山・大菩薩嶺・鷹ノ巣山・三ツドッケ・武甲山などの山々も見えます。

新富士見橋から見た富士山


新富士見橋からの夕景

２月３日は広瀬・禅龍寺で「節分会」が行われます。明治時代から始まったこの行事は、裃姿の歳男が豆撒きをして厄を払い祈願します。

上奥富・梅宮神社の「甘酒祭り」は平安時代の儀式を今に伝える鎮守の杜のお祭りで、２月10日に宵宮の神事が行われ、11日には参道の両側に露店が並び、境内は大変な賑わいで甘酒も振舞われます。

禅龍寺の節分会

梅宮神社の甘酒祭り